

学習会です

幸崎若菜さん、宮下有希さんのお話

医療現場から見た若者の性

文科省は、「わいせつ行為による処分教員数」を昨年12月に公表しました。処分教員は過去最多で224人になり、そのうち自校の児童・生徒を対象にしたわいせつ行為が半分だというデータが出ています。

また警察庁は、今年の4月に、交流サイトによる被害が最多になり、1813人が18歳未満であり、5年連続で増加していると発表しました。子どもたちは、SNSを使用した性犯罪にさらされており、被害は後を絶ちません。このような被害に遭った子どもたちに、社会は、教育関係者や医療関係者はどのように対応しているのでしょうか？ 担任や養護教諭に性被害の相談が来たとき、どのような対応が考えられるのでしょうか？

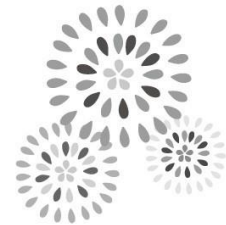
今回は、医療の現場で、被害に遭った若者に直接関わっておられるお二人をお招きし、被害の実態や若者が抱えている問題などをお聞きしたいと思います。被害を防止するためにどのような対策が必要か、参加した皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

日時 2018年7月22日（日）午後1時半～4時

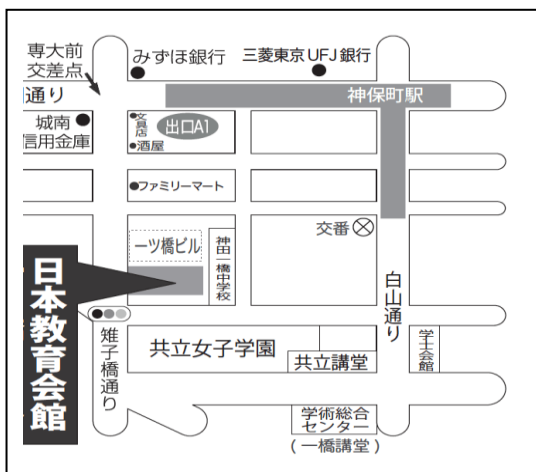
場所 日本教育会館 **2階 会議室**（地下鉄神保町A1出口から3分）

参加費 賛助会員 無料
一般 1000円 学生 500円

申し込みは不要です。直接会場にお越しください。



講師 幸崎若菜（助産師・思春期保健相談士・高知県立大学看護学部助教）
宮下有希（ソーシャルワーカー）



■交通機関のご案内

東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線
神保町駅（出口A1）

《問い合わせ先》

NPO法人

スクール・セクシュアル・ハラスメント防止
関東ネットワーク

E-mail : sshp2004@heart.ocn.ne.jp

Fax : 03-5328-3261